

令和7年度第3回 中小企業・小規模企業振興会議会議録

1 日時・場所

日時 令和8年2月20日（金）15:00～16:30

場所 大手口センタービル5階 会議室

2 出席状況

委員14名中13名が出席し、会議は成立した。出席委員、オブザーバー及び事務局出席者について確認した。

3 委嘱状交付・委員紹介

令和8年1月1日付で新たに委員に就任した者に対し、委嘱状の交付及び紹介を行った。

4 委員長・副委員長の選任

委員長及び副委員長は、規則に基づき委員の互選により選出することとされているが、立候補及び推薦がなかったため、事務局案として委員長に熊本委員、副委員長に藤島委員を推薦し、異議なく承認された。

5 振興会議の位置付けと役割

事務局から、新任委員向けに振興会議の位置付けと役割について説明を行った。

- ・本会議は、条例に基づく市長の諮問機関である。
- ・施策をPDCAサイクルに基づいて検討・評価し、次年度施策に対する改善提案や新たな取組の提言を行う役割を担う。
- ・あわせて、令和8年度以降の会議スケジュール案について説明があった。

6 議事

(1) 令和7年度主要事業の進捗状況

事務局から、唐津市商工業振興計画（第2次）の4つの基本方針に基づく主要事業の進捗状況について説明を行った。主な内容は次のとおり。

- ・企業力：商工会議所・商工会の経営改善普及事業への補助、DX推進事業、融資制度、地域経済研究所の取組等
- ・人材力：合同就職相談会の開催、企業誘致の推進、スタートアップ創出事業、創業支援補助等
- ・流通力：ふるさと寄附制度を活用した産品PR、首都圏での販促、唐津焼産業支援、コスメ関連産業支援等
- ・観光力：人流データの公開、宿泊電子クーポン事業、旅行商品の造成支援、滞在時間延長に向けた取組、海外向けプロモーション等

(2) 令和8年度主要事業（案）

事務局から、令和8年度当初予算案の概要及び主な関連事業について説明を行った。

- ・令和8年度一般会計当初予算案は793億8,083万3千円
- ・基本方針は「市民一人ひとりの幸せに寄り添う唐津」の実現
- ・重点項目は「市民の暮らしに寄り添う施策の充実」及び「地域の活力向上と持続的な経済発展」

商工・観光分野の主な事業として、次の説明があった。

- ・呼子エリアにおける電動アシスト付きシェアサイクルの試験導入
- ・食と文化を生かしたガストロノミーツーリズムの推進
- ・ツール・ド・九州2026開催にあわせた関連事業
- ・市民応援商品券事業（令和7年度補正予算事業）

(3) 令和8年度振興会議スケジュール

令和8年度の振興会議について、開催時期と主な議題案が説明された。

- ・第1回（5月下旬予定）：令和7年度施策評価（成果検証・課題抽出）
- ・第2回（9月下旬予定）：令和7年度施策評価の取りまとめ、令和9年度施策に対する企画・提案、令和9年度施策提言書（案）の作成

- ・第3回（令和9年2月下旬予定）：令和8年度主要事業の進捗状況、令和9年度主要事業（案）、令和9年度振興会議スケジュール

7 質疑応答（概要）

- ・ツール・ド・九州について：県が中心となって進めている事業であり、唐津市では令和8年10月10日の開催が決定している旨を説明。
- ・ピッチコンテストについて：優勝賞金は100万円であり、受賞者以外についても次年度以降のスタートアップ支援につなげていく考えが示された。
- ・二次創業での参加可否について：既存事業者が新たな分野に挑戦する場合も参加可能である旨を説明。
- ・呼子エリアの回遊性向上策について：シェアサイクル導入やガストロノミー事業を通じて、観光客のみならず市民利用も視野に入れた持続的な取組を進める考えが示された。また、地域事業者と連携しながら、3か年を見据えて地域に根付く事業として展開していく方針が説明された。